

無電柱化工事もこれで安心！ －非開削による小口径カーブ推進工法の開発－

キーワード

非開削施工、小口径カーブ推進工法、省スペース立坑

概要

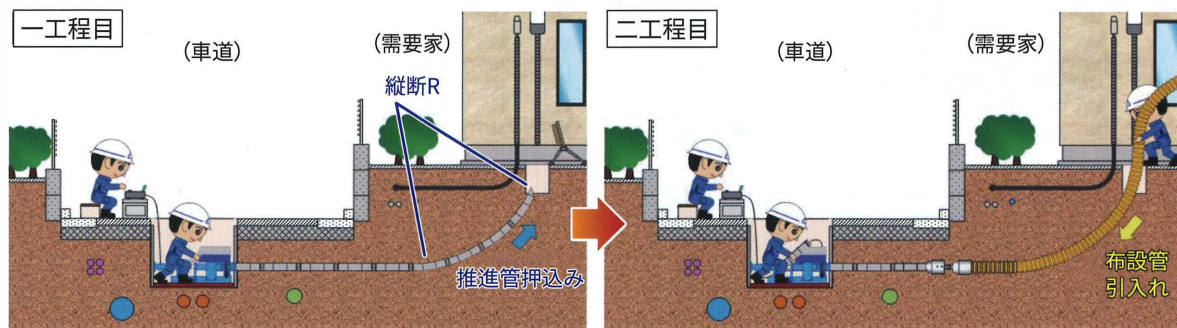
無電柱化工事において沿線道路から需要家への電力引込管工事は、開削工事にて施工されているが、民地内では掘削範囲が広くなり、本復旧までに時間を要するため施工者と需要家間で、必要に応じて作業日などの打合せを行っている。また、塀や樹木の下を配管する場合、一度取外し、配管施工後に元に戻すため非効率となっている。これらの問題を解決するため、非開削で引込管工事が施工できる「小口径カーブ推進工法」を開発したので報告する。

【特長】

- (1) 圧入式・引戻し式の二工程式の小口径カーブ推進工法
- (2) 直線と縦断カーブを組合せた施工が可能（最小曲半径1.5mRに対応）
- (3) 標準設置スペースは幅1.2m×長1.2mで省スペース設計

今後の展開

当該工法の基本技術及び実用性能の確認ができ、現場導入が可能となった。今後は、実現場で試験運用を重ね、実現場における更なる課題の改善を進め、利用拡大を図るとともに受注につなげていく。



小口径カーブ推進工法の施工イメージ図